

はじめに

本日は、公開保育にお越しいただきまして、ありがとうございます。

子宝幼稚園は、昭和48年に創立、“よく遊び よく学ぶ 瞳輝く子ども”を育てる為に、子宝を愛情をもって、優しく 厳しく教え育んでいます。

さて、本園は平成20年度の堺市 幼児教育実践研究報告会の中で発表致しました『人と共存していく力(コミュニケーション能力)を養う保育』を継続的に実践しています。

子ども達は、集団生活の中で友だちと遊ぶ楽しさを知り、“譲る、譲られる”関係を学んでいきます。その中で他者への思いやりの現れである“愛他行動”も身につく様に保育を進めています。最近では兄弟が少なくなっている事に加えて、公園や空き地等で走り回って遊ぶ事が殆ど見られなくなりました。本来、子ども達は大人の目の無い世界で、“ガキ大将”と呼ばれるリーダーを中心に年上の友だちへの接し方、年下の友だちのいたわり方を遊びの中で学び、社会性を養っていくものですが、その様な場を確保できない状況においては、園生活の中で意図的に導いていく事が必要だと思っています。

その具体的な活動として、縦割保育や朝、昼食後、降園バス出発前の時間に全園児での外遊びがあり、様々なクラス、年齢の子ども達が遊ぶ機会を設けています。時にはケンカもありますが、それこそが人と共存していく力を養う学びの場となります。

保育者は、その時間をできる限り取れる様に、雨上がりでも遊具を拭き、水溜まりの水取りをして外遊びに出す様に努めている事と大型の遊具や砂場等の固定された物以外にも跳び箱やマットを用意して環境を整えています。すると子ども達は自分の好きな活動を選び、遊びに集中していきます。子どもは外で元気に遊ぶ事で心身共に成長し、遊ばなければ成長はないと言っても過言ではないでしょう。

そして、この幼児期に積み重ねた人間としての基礎が、小中学校での友達関係や学習意欲へと繋がっていき、やがてはコミュニケーション能力が豊かで、社会に上手く適応できる大人になってくれると信じています。

平成15年度より学校評価、第三者評価が実施され、ホームページ上に於いて情報公開が義務化されつつあります。この評価は自園を見つめ直す為に極めて大切な要素であると考えています。そして今回、堺支部の公開保育指定園となり、ご参加下さいました先生方から、忌憚のない貴重なご意見・ご指摘をいただけるのも自園を見直す良い機会として誠に嬉しい事です。

今後、認定子ども園等に移行していく時代ではありますが、これからも教職員と共に“幼児教育に自信のある幼稚園”であり続けたいと思っております。

まずは朝の登園の様子からご覧下さい。バス通園の子ども達は、異年齢のチームを編成していますので、年長児は年中児や年少児と手を繋ぎ保育室まで一緒に連れて行ってあげます。

本日の公開保育が、幼児教育に携わる私達にとって有意義な時間となります事を願っています。

園 長 中 井 文 哉